

公 開 研 究 会

桜美林大学
健康福祉学群主催

誰一人取り残さない 多様な高等学校教育

2024年12月22日(日) 13時～15時

桜美林大学淵野辺キャンパス PF501教室
(JR横浜線淵野辺駅徒歩1分)

理解と支援の広がりを目指して

現在、生徒たちの多様性に伴って、高等学校の教育現場は変わりつつあります。柔軟で、個に応じる教育課程や指導形態の他、特別支援学校や福祉機関との連携・協力によって、生きづらさを抱える生徒を理解し、支援する輪が広がりを見せています。本公開研究会は、小学校・中学校時代に不登校を経験した生徒を積極的に受け入れている高等学校からの基調講演と実践報告を通して、社会自立に向けた支援についてご参会の皆様とともに考えたいと願い、開催いたします。

第一部 基調講演 13時05分～

テーマ「不登校という概念のない 学校（社会）の創造を目指して」

講師 東京都立世田谷泉高等学校 統括校長 沖山 栄一氏

第二部 実践報告1 13時45分～

高等学校と特別支援学校の連携による生徒支援

講師 東京都立中野特別支援学校 主幹教諭 栗原順美子氏
C S V（センター的機能スーパーバイザー） 柴田 牧子氏

実践報告2 14時15分～

地域が応援する高等学校内の居場所カフェ

講師 特定非営利活動法人パノラマ代表理事 石井 正宏氏

申し込みフォーム



—理解と支援の

広がりをめざして—

プログラムの詳細

基調講演

「登校のみを目標としない」ならば学校にはどのような取組が求められるのか。「学校が生徒に合わせる」という設置理念をもつチャレンジスクールの四半世紀の成果と今後の課題についてお話しします。

実践報告 1

東京都では、令和4年度より、都立高等学校の特別支援教育を推進するために「都立学校発達障害教育推進エリアネットワーク」を策定し、高等学校と特別支援学校が連携した生徒支援を進めています。今回は、地区拠点校を介した高等学校との連携の実際や通級指導教室の状況等の支援の仕組みと教育におけるユニバーサルデザインの意義、高等学校における環境UD、授業UD、人的UDの取り組み例についてご紹介します。

実践報告 2

生きづらさを抱える生徒、学習や生活に漠然とした不安を抱える生徒等を地域の大人が応援する高等学校内に開かれた「居場所カフェ」の取り組みが各地に広がりを見せています。コミュニケーション、食事の提供、相談など出会いの場で築かれていく地域の大人と若者の信頼関係。日常の支援や学校との連携のあり方など、その取り組みと意義についてお話しします。

問い合わせ

桜美林大学健康福祉学群 山口真佐子

yamaguchi_m@obirin.ac.jp